

2-2. グッドプラクティスの概要.(2) 長崎市立図書館整備運営事業

民間ノウハウの活用による効率的かつ効果的な地域経営の実現事業

- ◆ 市立図書館を有しなかった自治体が、図書館設置に際して民間ノウハウを活用することで要求水準以上の設備を導入
- ◆ 地元雇用の創出、地域住民の活動場所確保、周辺地域の活性化に寄与
- ◆ 図書館を訪れる市民が増え、休日の官庁街にも人通りが出現

概要

管理者	長崎市
施設内容	図書館、コミュニティ施設、救護所 メモリアルコーナー、地下駐車場
延床面積	11,658.94m ²
施設の所有形態	BTO方式
事業類型	サービス購入型 (一部独立採算型)
総事業費	約103億円(入札価格、税抜)
VFM	約28%
事業期間	約17年(管理運営約15年)



2-2. グッドプラクティスの概要(2) 長崎市立図書館整備運営事業

□図書館機能の充実による市民サービスの向上

- ・ 開館時間の延長や利便性の高い自動化システムの導入等事業者提案による迅速なサービスの提供と書庫の有効活用
- ・ 約半数の利用者が1時間以上の長時間利用

□小学校跡地の有効利用

- ・ メモリアル空間による地域のコミュニティの継承

□休日の官庁街にひとの流れを創出

- ・ 約3割の利用者が土日の利用



(案内図、平面図は長崎市立図書館HPより転載)

2-2. グッドプラクティスの概要(2) 長崎市立図書館整備運営事業

■グッドプラクティス事業の分析(要求水準書と提案内容)

○運営業務要求水準

- 図書館の運営方法について、細かい水準まで示してはいない。
- 図書館の開館時間のうち、少なくとも、開館時間中は軽食コーナーを営業する。
- 図書館の利用者が長時間滞在する上で不便が生じないようなメニュー構成とする。



○事業者の提案

- 自動閉架書庫・本の自動仕分機・ベルトコンベアによるブックポスト自動返却システムなど積極的な管理システムの自動化
- 図書館入口から利用するのみではなく、直接入ることができる入口を設置し、テラス席も設けている。



レストラン

図書館入口



自動仕分機

・一般的図書館サービス



・自動化によるサービスの向上

・図書館利用者向け飲食サービス



・だれでも利用できる開かれたレストラン
(地域活性化、経営の安定等)

(自動仕分機の写真は長崎市立図書館HPより転載)